

室蘭製油所 石油化学製品(キュメン)製造設備の新設について ～製油所の高付加価値化を推進～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔)の室蘭製油所(所長:小菅 章光)において、石油化学製品(キュメン)製造設備の新設を決定しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、今後、中国を中心に石油化学品需要がますます拡大することが見込まれるアジア市場をにらみ、第3次連結中期経営計画において、CRI(Cheical Refinery Integration:石油精製と石油化学の一体化)を推進していく事業戦略を策定しております。

今回の新設により製造されるキュメンは、室蘭製油所で生産されているプロピレンとベンゼンを原料とする高付加価値石油化学製品で、主にフェノールの原料となり、最終的には自動車用ガラスやCD/DVD等の製品となります。製油所において原油からキュメンまで一貫製造するのは国内初であり、キュメンをアジア市場に向けて供給することにより、製油所の高付加価値化を更に推進してまいります。

記

1. 設備の概要

- (1)製油所所在地 室蘭市陣屋町一丁目172番地
- (2)設備投資額 約70億円
- (3)運転開始時期 2008年度目標
- (4)生産能力 17万トン/年

以上

資料1. 室蘭製油所の概要

室蘭製油所は、北海道で最大の製油能力をもつ新日本石油グループの主要製油所です。北海道で需要の高い灯油・軽油・A重油を中心に石油製品を安定的に供給するとともに、高付加価値な石化製品製造装置を有し、北海道および東北の一部地域における製造、供給拠点として大きな役割を担っています。

- ・所在地 : 室蘭市陣屋町一丁目172番地
- ・所長 : 小菅 章光
- ・操業年月日 : 昭和31年12月
- ・原油処理能力: 180,000バレル/日

<室蘭製油所沿革>

| | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 昭和31年(1956年)12月 | 室蘭製油所完成(原油処理能力:7,500バレル/日) |
| 昭和48年(1973年)10月 | 道内最大の製油所として近代化(原油処理能力:110,000バレル/日) |
| 平成7年(1995年)5月 | ISO 9002認証取得 |
| 平成8年(1996年)7月 | ISO 14001認証取得 |
| 平成11年(1999年)7月 | 「日石三菱精製株式会社」へ社名変更 |
| 平成11年(1999年)9月 | 接触改質装置を更新(処理能力:30,000バレル/日) |
| 平成13年(2001年)4月 | 原油処理能力を180,000バレル/日に変更 |
| | |

| | |
|-----------------|---|
| 平成13年(2001年)8月 | 粗キシレン製造装置建設 |
| 平成14年(2002年)4月 | 「新日本石油精製株式会社」へ社名変更 |
| 平成16年(2004年)10月 | IPP設備を建設（発電能力 99,000kw） 北海道電力(株)へ50,000kwの電力供給開始 |

資料2. 新日本石油精製株式会社の概要

| | | |
|----------|---|---------------------------------------|
| 1. 商号 | 新日本石油精製株式会社 | |
| 2. 事業内容 | 石油製品の製造および売買など | |
| 3. 設立年月日 | 昭和26年(1951年)10月1日 | |
| 4. 本社所在地 | 東京都港区西新橋一丁目3番12号 | |
| 5. 代表者 | 代表取締役社長 小沢 稔(おざわ みのる) | |
| 6. 資本金 | 400億円（出資比率:新日本石油(株)100%） | |
| 7. 決算期 | 3月31日 | |
| 8. 従業員数 | 2,573名(2005年9月30日現在) | |
| 9. 事業所 | 室蘭(北海道) 仙台(宮城県) 根岸(神奈川県) 横浜(神奈川県) 大阪(大阪府) 水島(岡山県) 麻里布(山口県) | |
| 10. 沿革 | 昭和26年(1951年)10月 | 日本石油(株)とカルテックス社(米国)の折半出資で日本石油精製(株)設立 |
| | 平成8年(1996年)4月 | 日本石油(株)がカルテックス社の全株式を取得、100%子会社とする |
| | 平成11年(1999年)7月 | 日石三菱精製(株)に商号を変更する |
| | 平成14年(2002年)4月 | 興亜石油(株)、東北石油(株)と合併、商号を新日本石油精製(株)に変更する |